

# いわた羅針盤

ら しん ばん

2022年  
12月号  
12/1発行

No.88

令和4年9月定例会



**特集**

## 交通安全指導員の活動

**Topics**

- ・オンライン委員会を開会可能に ～市議会委員会条例の一部改正～
- ・閉会中の継続審査を決定 ～台風15号による被害を受けて～ ほか

### CONTENTS

P 2	特集 交通安全指導員の活動
P 4	磐田市議会災害等対策会議
P 5	9月定例会議案審議
P 7	委員会審査
P 8	一般質問（12人）
P 15	行政視察報告
P 16	トピックス
P 18	インフォメーション
P 19	議会報告会
P 20	審議結果 ほか

# 特集 交通安全指導員の活動

磐田警察署内にある静岡県交通安全協会磐田地区支部では、交通安全指導員が、年間を通して交通安全教室などを行っており、春と秋は全国交通安全運動、夏と年末は交通安全県民運動に従事しています。今回の特集は、交通安全指導員のお2人に、交通事故に遭わないためのポイントなどのお話を伺いました。  
(取材日:令和4年10月21日) (聞き手:市議会総務委員会 小池和広委員長、戸塚邦彦副委員長)



交通安全指導員 溝垣憂姫さん

伝わっているのかなという思いがありました。

——課題と感じていることはありますか。

**五十嵐** 一人一人に気を付ける意識がないと、周りがいくら頑張っても交通事故は減らないと思います。交通安全意識を高めることの難しさを感じています。

**溝垣** 幼稚園・保育園・こども園の交通安全教室では、保護者対象に話をする機会があります。交通安全教



交通安全教室の様子  
五十嵐京子さん



広報啓発活動の様子  
溝垣憂姫さん

——これまでの活動で経験したことを教えてください。

**溝垣** 交通安全教室の休憩時間に、小学生が「自転車で帰るけど、これからは、交通ルールを守って気を付けて帰ります」と言ってくれたことがうれしかったです。

**五十嵐** 高齢者宅を訪問して交通事故防止を呼びかける活動の中で、偶然、お子さんを交通事故で亡くされた方から交通事故の怖さ、悲しさを教わることもありました。このような思いをする方を一人でも減らしていかなければならないという思いになりました。

——本市の交通事故発生状況を教えてください。

**五十嵐** 令和4年1月1日から10月20日までで、762件の人身交通事故が発生しており、亡くなられた方は3名、けがをした方が1005名です。過去5年間、減少傾向にありましたが、3年と比べ、人身交通事故18件、亡くなられた方1名、けがをした方20名、それぞれ増えており、非常に危機的な状況にあります。

**五十嵐** 交通事故に遭ってからでは遅いので、日頃から交通事故の状況等に関心を持ち、事故に遭わないための知識をいえるところで身につけてください。

**溝垣** 自転車利用者の事故のうち、頭にけがをして亡くなる方は、約6割を占めています。自分の安全は自分で守るため、自転車に乗るときは、必ず自転車用のヘルメットをかぶっていただきたいです。



——市議会や行政に期待することはありますか。

**五十嵐・溝垣** 自転車に乗るときにヘルメットをかぶるのは、ちょっと恥ずかしいという気持ちがあるかもしれないですが、アメリカでは、かぶらないと恥ずかしい、なぜ君は自分の体を守らないのかと言われるようです。そのような意識になるように

——コロナ禍の影響はありますか。

**五十嵐** 今まで主に中学生・高校生対象の交通安全教室は、全校生徒を一堂に集めて実施していましたが、密回避のため、学年ごとやリモートで行っています。リモートの場合は、言いたいことが伝わっているのかわりにくいので、早くコロナ禍前に戻ってほしいと願っています。

**溝垣** 高齢者宅を訪問して交通安全の呼びかけをすることができない状況のときは、伝えたいことをチラシにまとめて投函しましたが、うまく



主任交通安全指導員 五十嵐京子さん

磐田から発信してほしいです。「ヘルメット着用率日本一磐田」となるといいですね。

——取材の中で説明していただいた、「しずおか・安全横断3つの柱」

- 1の柱 横断する意思表示をしよう
- 2の柱 安全確認をしてから横断しよう
- 3の柱 横断中も安全確認をしよう

大人も恥ずかしいと思わずに、手を挙げてドライバーの方に「渡ります」と横断の意思を示すことが大切だと感じました。  
ご家庭の中でも、交通安全意識を高めていただけるよう啓発に努めてまいります。



# 議案審議

会期 9月7日～10月12日 (36日間)

9月定例会の様子は、インターネットで録画配信しています。

磐田市議会 配信 検索



## 一般会計補正予算（第5号）などを審議

9月定例会では、市長提出の4年度一般会計補正予算などの一般議案16件、人事議案2件のほか、議員発議の条例の一部改正1件、意見書1件を審議しました。

台風15号により市内に大規模な被害が発生したことを受けて、3年度各会計決算等15件については、慎重審査のため、閉会中の継続審査としました。

なお、すべての議案の審議結果は最終ページに掲載しています。



磐田市立中央図書館

- 図書館におけるIC対応機器の導入に要する経費の増額
- 民間認可保育園等における食料費や感染症対応等に対する補助金の増額
- 公立幼稚園・保育園等の備品購入に要する経費の増額
- 寄附金を活用した教育用品の購入に要する経費の増額
- 燃料価格高騰の影響による公共施設の電気使用料等光熱水費の増額
- 基幹業務システム標準化に関する経費の増額

この補正予算は、歳入歳出予算の追加及び地方債の変更であり、補正予算第4号の補正後の額に、歳入歳出予算それぞれに5億6915万7千円を追加し、総額を679億3980万6千円とするものです。

議案第60号

### 4年度一般会計補正予算（第5号）

全会一致で  
可決

#### 本会議での主な質疑

**問** 燃料価格高騰の影響による光熱水費増額の算定根拠は。

**答** 電気料金は、新電力会社と契約している87施設が対象で、基本料金、燃料費調整額及び再生可能エネルギー発電促進賦課金の合計に約23%の値上げ率を掛けて算定している。また、ガス料金は、3力所の学校給食センターとながふじ学府共同調理場の4施設が対象で、平均値上げ率約28%と使用量実績等をもとに算定している。

**問** 基幹業務システム標準化とは。

**答** 「地方公共団体情報システム標準化に関する法律」により、全ての市町村が7年度末までに、住民記録、税、福祉などの業務で利用しているシステムを、国の定める標準仕様に準拠したシステムへ移行することを目指すものである。

**問** 図書館のIC対応機器導入による効果は。

**答** セルフ貸出機・返却機の導入により、コロナ対策として非接触でサイ



## 磐田市議会災害等対策会議を開催

～ 令和4年台風第15号による被災状況と対応について ～

令和4年台風第15号の影響により市内に大きな災害が発生したため、9月30日と10月7日の2日間、磐田市議会災害等対策会議を開催し、被災状況や今後の対応について市から説明を受けた後、集中して質疑を行いました。



神増地内の様子（4年9月25日撮影）



向笠新屋地内の様子（4年9月25日撮影）

- 【市からの報告】
- 被災状況
- 市の対応状況
- 今後の対応
- 【質疑等】
- 台風第15号による被災にかかる質問、意見、要望等

#### 主な内容

#### 主な質疑

**問** 先が見えない不安を解消するには、復旧の工程を示すことが必要と考えるが、見解は。

**答** 復旧の工程を示すには相当の日数を要すると思われるが、地元への丁寧な説明が大切とされているので、意識して進めていきたい。

**問** 水位計の情報が市民に伝われば、被災が防げたと考えますが、見解は。

**答** 水位計を見ながら判断し、磐田市公式LINE、いわたホッとメールなどにより情報を伝えているが、検証は必要だと理解しているため、今後、課題を検証していきたい。

**問** 市内事業者の災害協定による対応について伺う。

**答** 被災翌日からフル回転で対応していたらいい。協定を締結した事業所から、プッシュ型で協力の申し出があるため、内容を整理し依頼事項を調整し進めてきたが、今後、検証は必要と考える。

**問** 情報の一本化について伺う。

**答** プッシュ型で支援する方針としたため、被災後5日間程度は、担当個々から発信していくことも課題と認識しつつもやむを得ないと思っていたが、日数が経過し情報を集約する体制が

整ったため、これからはできる限り集約し、プッシュ型で支援していく。

**問** 自衛隊に災害派遣要請したものの、派遣に至らなかった理由を伺う。

**答** 自衛隊の派遣には、公共性、緊急性、非代替性の3要件全てに当てはまることが必要で、今回は公共性のみの該当であったため、派遣に至らなかった。

**問** 災害派遣要請で自衛隊に依頼できる作業の範囲を伺う。

**答** 人命救助、捜索、復旧作業などがある。



**問** 被災対応への庁内の応援体制を伺う。

**答** 職員の体調やメンタル面に配慮し、必要な部署は部局内で動員を募るとともに、建設や保健に関する業務や豊岡支所については、他部局から動員して行っている。

# 委員会審査

議会では、委員会を設置し議案を詳細に審査しています。その内容の一部をお知らせします。

予 算 決 算 委 員 会	
■委員長：岡 貴	■委員：議長を除く全議員
■副委員長：虫生時彦	
<p><b>4年度一般会計補正予算(第5号)</b></p> <p><b>【歳出2款 総務費】</b></p> <p><b>問</b> 竜洋支所、福田支所、豊田支所の施設管理事業における光熱水費の補正額の違いは。</p> <p><b>答</b> 竜洋支所27万4000円は、冷暖房システムに灯油を使用しており、その分燃料費は高くなるが、電気代が抑えられている。福田支所268万9000円は、施設規模が大きいこと、人員配置が多いことが要因である。アミューズ豊田に移転した豊田支所は、事務所部分がメインで、電気の使用量は抑えられており、現予算で収まっている。</p> <p><b>【歳出3款 民生費】</b></p> <p><b>問</b> 障害支援区分認定事業の詳細は。</p> <p><b>答</b> 審査会委員及び担当職員に、全体で15台のタブレット端末を導入し、医師の意見書等必要資料をクラウド上に管理することにより、今後認定審査会をリモートで開催していく。</p> <p><b>【歳出4款 衛生費】</b></p> <p><b>問</b> 子宮頸がんワクチン任意接種費の助成金申請方法と接種証明について伺う。</p> <p><b>答</b> 窓口での申請に加え、オンライン申請の導入を考えている。接種証明については、医療機関発行によるものと、母子健康手帳の記録等に加え、医療機関への問合せによる対応を考えている。</p> <p><b>【歳出8款 土木費】</b></p> <p><b>問</b> 交通安全施設整備事業の、国庫補助金交付決定による増額の経緯は。</p> <p><b>答</b> 3年6月に千葉県八街市で起きた事故を受けて、国が4年度から新たに創設した個別補助事業で、今年度も交通安全施設事業として市内各地で区画線やガードレールなどの整備を行う</p> <p><b>【歳出10款 教育費】</b></p> <p><b>問</b> 中央図書館施設管理事業におけるICT機器が、高周波の電磁界を発生し、心臓ペースメーカーなどの植え込み型医療機器に及ぼす影響は。</p> <p><b>答</b> 課題として認識しており、利用者への注意喚起を図っていきたく考えているが、これまでに導入している他の図書館では、そのような事故事例はないと聞いている。</p> <p><b>【歳出10款 教育費】</b></p> <p><b>問</b> ICTタグとICT機器運用開始までのスケジュールは。</p> <p><b>答</b> 4年度末までに、ICTタグの貼付を終え、5年4月からの運用を考えている。</p> <p><b>4年度下水道事業会計補正予算(第1号)</b></p> <p><b>問</b> 警南浄化センター流入ゲート設備改築工事の増額について伺う。</p> <p><b>答</b> 流入ゲートの材料価格の上昇で5000万円、安全に汚水処理を行うため、仮設管設置の対応に伴う流量調整弁の追加設置で3000万円、社会情勢の影響から約2、3カ月の遅延を見込み、仮設設備のリース費用の増額で2000万円、合わせて1億円の増加となる。</p> <p><b>4年度病院事業会計補正予算(第2号)</b></p> <p><b>問</b> AI問診システム導入に伴い、タブレット操作に不慣れな方への対応と、患者満足度の検証について伺う。</p> <p><b>答</b> 当初は、事務職員や看護師が操作を支援していく。検証については、救急救命センター管理委員会において検討していく。</p>	



**議案 第72号**

## 4年度一般会計補正予算(第6号)

この補正予算は、歳入歳出予算の追加であり、補正予算第5号の補正後の額に、歳入歳出予算それぞれに9億9867万9千円を追加し、総額を689億3848万5千円とするものです。

**補正予算の主な内容**

●低所得世帯(住民税非課税世帯等)に対し、価格高騰緊急支援給付金として、1世帯当たり5万円を給付するための経費の増額

●台風15号による災害に対する緊急的な支出に対応するための予備費の増額

**本会議での主な質疑**

**問** 価格高騰緊急支援給付金の算定根拠は。

**答** 低所得世帯の電気・ガス・食料品等価格高騰相当分ということで、毎月5000円の6カ月分を十分に上回る金額として1世帯当たり5万円が設定されている。

**問** 台風15号による災害に対応するために計上した予備費3億円の積算根拠は。

**答** 被害が大きいため、現時点では試算できる状態ではない。あくまでも一時的・緊急的に対応していくため、予備費として計上したものである。基本



香貴地内(災害ごみ仮置場)の様子(4年9月26日撮影)

的には次期の補正予算の災害復旧費等で計上し、明確にしていきたい。

**問** 災害復旧に対する、国・県からの支援は。

**答** 災害救助法の救助では、国・県から負担金が入る予定である。ごみの処理や公共施設・インフラの災害復旧については、国庫負担と起債が財源として見込まれる。また、特別交付税は、罹災世帯数や全壊・半壊家屋戸数、浸水家屋戸数、農作物被害面積などに基

全会一致で可決

**議案 第4号**

## GIGAスクール構想の推進及び持続可能な中学校部活動に関する意見書

市議会は、「誰一人取り残すことのない」新たな時代の学校教育の推進が図られ、地方自治体や学校現場での教育が充実し、持続可能なものとなるよう国に意見書を提出しました。

**(意見書提出先)** 内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣、スポーツ庁長官、文化庁長官

**GIGAスクール構想の推進及び持続可能な中学校部活動に関する意見書**

現在、日本の社会は重要な変革期にあり、学校教育を取り巻く状況も大きく変化してきている。この間、国においては、GIGAスクール構想が前倒しされ、地方自治体においても1人1台端末などの整備が図られ、教育現場でのICTの活用が進められてきた。

また、中学校における部活動においても、スポーツ庁・文化庁の各有識者会議での議論がなされ、休日の部活動の地域移行が国に提言されて検討が進められている。

新たな時代の学校教育を進めるため、ICT活用によるGIGAスクール構想の推進や持続可能な中学校部活動のための地域移行は、地方自治体においても極めて重要なところである。

「誰一人取り残すことのない」新たな時代の学校教育の推進が図られ、地方自治体や学校現場での教育が充実し、持続可能なものとなるよう次に掲げる事項について強く要望する。

記

- 1 教育現場において、GIGAスクール構想のもとICT活用が進められる中で、公立小・中学校のICT化によるランニングコスト(通信費等)及び機器等の更新費用への財政的な支援に加え、デジタル教科書の無償化を図ること。
- 2 中学校部活動の地域移行にあたり、地域の特性を考慮した展開ができるよう国が具体的な方策を明確に示し、移行に関して十分な期間をとり必要な財政措置を講ずること。
- 3 中学校部活動は教育活動の一環であり、人間形成の場として実施されていることから、技術だけでなく人づくりの一助となるよう指導の考え方を示すこと。また、持続可能な地域部活動となるため、指導者育成と資格取得や研修の実施等、指導者確保に関する支援を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

全会一致で可決

# 気候変動下の防災対策について／天候急変と要配慮者の避難について



一括質問

志政会 八木 義弘 議員



## 気候変動下の防災対策

**問** 洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域などで、避難情報発令の判断が難しいと思われる要因を伺う。

**答** 夜間や急な大雨が継続しているなど、避難することにより2次災害が発生するおそれがある場合は、発令を躊躇する要因が多くなるが、情報収集を的確に行い、迅速に判断するよう準備していく。



**問** 防災気象情報等を5段階の警戒レベルに集約・整理し、台風接近などに市ホームページなどでリアルタイム表示してはと考えるが、見解は。

**答** 市ホームページは、詳細な情報提供先となる気象庁のホームページ等とリンクさせているが、欲しい情報を素早

# 市政を問う

## 一般質問

要旨

### 一般質問とは？

個々の議員が、市政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対して行う質問を一般質問といいます。9月定例会では、12人の議員が一般質問を行いました。発言した順番で主な内容をお知らせします。

一般質問は内容を要約して掲載しています。詳しくは、インターネットの録画映像をご覧ください。

磐田市議会 配信

検索

# 子どもの笑顔あふれる磐田市に向けて／農地の相続とこれからの農業政策について



一括質問

志政会 秋山 勝則 議員



## 子どもの笑顔あふれる磐田

**問** 学校における、子どもの権利と校則についての見解は。

**答** 学校生活の約束事は、自分たちの学校をよりよくするためにあるという考えの下、中学校では、生徒会を中心に話し合うなど、生徒の手で見直しをしている。小学校では、企画委員会でアイデアを募集し、集まった意見を話し合い、全校で取り組んでいる。

**問** 子どもの相談機能の拡充に対する見解と今後の方策は。

**答** 職員のみで児童・生徒を見守ることを第一として、日々の関わり、教育相談、アンケートなど様々な手段を活用して相談体制を整えている。環境を整えるため、1人1台端末等の活用の研究や、関係機関の周知方法を工夫し、子どもの悩みに寄り添っていく。

## 農地の相続と農業政策

**問** 農地取得の下限面積要件が廃止されることへの見解は。

**答** 多様な担い手による農業の広がりや、空き地に附属する農地が取得しやすくなるな



# 磐田市の聖苑について／学生の学習の場について／磐田市の外国人について



一問一答

せいわ会 加藤 公人 議員



## 聖苑

**問** 磐田市聖苑の施設・設備の整備状況と、長寿命化や維持管理を踏まえた内装の改修の考えは。

**答** 改修は、長期の修繕見通しと保守点検の結果を基に、施設の重要性や緊急性を考慮して実施しており、内装などの外観も、状況に応じた修繕を実施している。修繕は、優先順位を決め対応していく。



磐田市聖苑

## 学生の学習の場

**問** 学生が勉強に十分専念できるような、学ぶ場を増やすことが必要と考える。見解は。

**答** 学生が多くの公共施設で学習していることは理解している。現時点で場所を増やす考えはないが、学生が暮らしやすいまちとなるよう、引き

続きを聞いていきたい。

## 多文化共生

**問** 外国人材の活躍推進に積極的に取り組んでいる事業所への補助制度や優遇措置を講じる考えは。

**答** 外国人雇用等を条件とした補助金や優遇は現時点では考えていないが、他市の事例等も参考にしながら研究していくとともに、積極的な外国人雇用や教育、待遇改善を行っている事業所の取組を広く紹介する方法を検討していく。

**問** 第4次磐田市多文化共生推進プランにおける、今後の具体的な事業展開は。

**答** プランに掲げた29の具体的施策を関係課・団体と連携し一丸となって実施していく。その中でも、日常生活における外国人と日本人のコミュニケーションが課題と捉え、外国人を雇用する事業所と連携した日本語教室の実施や、やさしい日本語の手引き作成と地域に向けた普及、外国人情報窓口から発信する情報の多言語化などを考えていく。

福祉の充実について／がん征圧の取組について／市の諸施策について



一括質問

公明党磐田 江塚 学 議員



福祉の充実

**問** 障害者情報アクセスシビリテイ・コミュニケーション施策推進法施行による取組は。

**答** 障がい者の特性に合わせた方法で情報提供を行っている。今後も意見を聞きながら、DX化や新しいツールの研究も含め、様々な方法で分かりやすい情報提供等に努めていく。

がん征圧の取組

**問** 市立総合病院における緩和ケアの取組は。

**答** 治療だけでなく、患者の不安等への支援や、緩和ケアチームでケアをしている。精神的苦痛や社会的・経済的な不安に対しては、がん相談支援センターで年間約2500件の相談に応じている。



諸施策

**問** 食とくらしの「グリーンライフ・ポイント」推進事業への取組の考えは。

**答** 県や他市町とともに取り組んでいるふじのくにCOO Lチャレンジ「クルポ」の広報に努めるとともに、市独自の取り組みを考えている。

**問** 救急安心センター事業（#7119）の中東遠地域での導入の考えは。

**答** 適正受診や救急車の適正利用、医療相談窓口としての事業効果が見込まれるが、県単位の実施を前提に協議が進められているので、地域を限定した導入は考えていない。

市の危機管理について／新教育長の所信と磐田の教育について



一括質問

磐田の底力 柏木 健 議員



危機管理

**問** 市長の新型コロナウイルス治療中における台風8号静岡県内上陸時の副市長の登庁について伺う。

**答** 当日は大雨警報の発表で市の災害時の配備態勢に基づきレベル1の情報収集体制をとった。副市長はレベル1の参集者に該当しないため登庁はしていない。市長、副市長が来なければいけないのは、レベル4の災害対策本部体制になってからである。

**問** 市のごみ袋への地区名氏名の記名廃止について伺う。

**答** 記名は分別や排出日に誤りがあった場合に本人へ知らせることを目的としているが、プライバシーに関する不安の声もあることから、記名のほかに記号等の使用について検討を進めてきた。今後は自治会関係者に意見を聞きながら導入を進めていく。

**問** ごみ袋への記名は義務なのか。無記名や不鮮明な場合の市と自治会の対応は。

**答** 記名は市からのものであり、無記名であっても中身

新教育長の所信と磐田の教育

**問** 小中一貫教育、小中一体化への考え方は。

**答** 学府一体整備は、全学府を施設一体型にすると決まっているわけではない。それぞれの学府に合ったものを地域と話し合いながら進めて行く方針である。



がきれいで正確に仕分けができていれば回収業者が引き取って処分している。自治会にはプライバシーの観点から不適正なごみ袋の開封はせず、ごみ対策課に連絡をするようお願いをし、職員が出向いて回収をしている。今後は自治会への周知をしっかり行い、開閉がないようプライバシーの配慮に心がけていきたい。

みんなを守る磐田の防災について／人権と平和を尊重する磐田の男女共同参画について



一括質問

市民と創る磐田 鈴木 弥栄子 議員



みんなを守る磐田の防災

**問** 避難所の授乳室の確保と地域住民に周知する方法について伺う。

**答** 4年5月現在、授乳室は10の避難所に設置されている。全ての避難所に設置されるよう避難所運営マニュアルに必要性を明記する。また、地域防災訓練時に周知し、避難所レイアウト図にも場所を表示するよう取り組んでいく。

**問** 避難所での授乳アセスメントの実施と調査のための人材育成について伺う。

**答** 他市の状況や先進事例を参考に、保健師等と連携し研究していく。市民の活躍を地域の中で浸透させていきたい。

**問** 缶入りのアレルギー対応粉ミルクを衛生的に配布するための対策について伺う。

**答** 要望や必要がある避難所へ配布することとしている。より迅速かつ安全に配布する方法は、今後研究をしていく。

人権と平和を尊重する磐田の男女共同参画

**問** 審議会等に参画したいが、迷いがある、自信がないといった市民へのサポート体制を伺う。

**答** 積極的に参画する意識を高めてもらえるよう啓発活動を行っていく。段階的にワークショップなどへの参加を促していく。

**問** 審議会等で女性や若い世代の委員割合を増やすために実施したことについて伺う。

**答** 委員の男女割合や年齢バランスを考慮し、積極的な女性登用と若い世代からの選任を推進するよう、審議会等改選時期を迎える前に全庁に向けて発信している。若い世代が行政と関わる機会を増やし、審議会へ参加できるように取り組みに力を入れていきたい。



情報化の推進について／磐田市行財政改革について／磐田市の諸課題について



一括質問

志政会 岡 實 議員



情報化の推進

**問** 磐田市DX推進計画の具体的な取組の内容は。

**答** 市役所に来なくても必要なサービスが受けられるよう、電子申請などのオンライン化を進めるとともに、DXによる市民本位、市民目線のサービス向上を図っていく。個別の具体的な取組については、今後作成する実施計画の中で期間の設定や進捗管理を行う予定である。



**問** 利用制限を設けない無料WiFi整備拡充の考えは。

**答** 交流センター等のWiFi設備は、情報検索だけでなくリモート会議や動画視聴など、利用の幅が大きく広がっている。民間のサービスも同時接続、高速化、安定通信に対応したものに変わってきており、利用方法に応じたサービス導入を検討していく。

行財政改革

**問** 3年度までの第3次行財政改革5年間の成果や課題は。

**答** 成果は、財政力の向上、職員の意識改革など組織力が向上したことである。財政的な効果額は48・6億円で、本市が住みやすいと答える市民も88%から92%に上昇するなど、一定の効果が得られた。課題は、限られた財源と職員数で、市民の利便性向上のためこれまで以上に工夫や努力を重ねることが必要と考える。

持続可能なまちづくりに向けた諸課題について／文化財保存活用について



問  
答

せいわ会 本間昭男 議員



**問** 空き家バンクの活用状況を伺う。



**答** 空き家バンクを3年度に開設し、4年8月末現在で延

**問** 持続可能なまちづくりに向けた諸課題

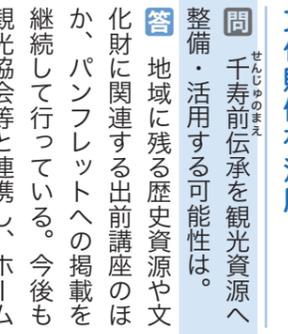
**問** 移住定住者の実状と事業等の方向性を伺う。

**答** Uターン促進奨学金返済支援補助事業を継続して実施しているため、若者の移住者が多い。今後は、本市に興味を持てるようなシニアプロモーションを行い、移住定住を促進していきたい。

**問** 求職者U・Jターン促進事業の現状と方向性は。

**答** 企業見学バスツアーや中京圏等での学内ガイダンス、転職・再就職フェア等を開催しているほか、スカウト機能による新たなマッチング支援に取り組んでいる。

**問** 千寿前伝承を観光資源へ整備・活用する可能性は。



**答** 地域に残る歴史資源や文化財に関連する出前講座のほか、パンフレットへの掲載を継続して行っている。今後も観光協会等と連携し、ホームページ等で周知を図っていく。

**問** 農村集落部の農地保全と住環境やコミュニティ維持のための施策は。

**答** 日常生活サービスや雇用の場の維持のため、コミュニティ拠点や産業拠点などを位置づけ、日用品店舗や工場などの立地を可能にする柔軟な誘導施策に努めている。

**問** 地域のコンパクト化を図りながら、市街地と農村集落部が共存し、市全体としてバランスが取れた持続可能なまちづくりに努めていく。

**答** 地域のコンパクト化を図りながら、市街地と農村集落部が共存し、市全体としてバランスが取れた持続可能なまちづくりに努めていく。

**問** 農村民集落部の人口を保つための条件とプロセスは。

**答** 地域のコンパクト化を図りながら、市街地と農村集落部が共存し、市全体としてバランスが取れた持続可能なまちづくりに努めていく。

新教育長に教育の諸課題を問う／持続可能な農業への支援を／ゼロカーボンシティの実現を

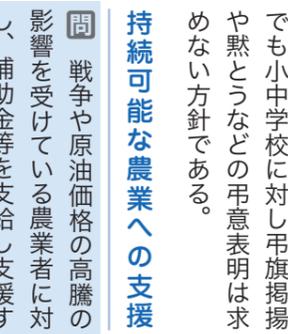


問  
答

日本共産党磐田市議団 高梨俊弘 議員



**問** 持続可能な農業への支援



**答** 農業を含め中小企業等への影響もできるだけ丁寧に分析をし、国、県の支援策も見

**問** 新教育長に教育の諸課題を問う

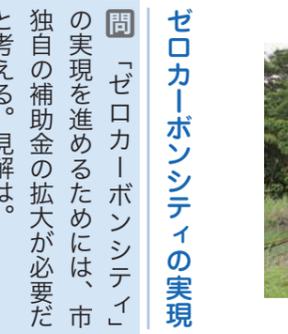
**問** 新時代の新たな学校づくりでは、全ての学府を一体化するものではないと考える。今後の考え方は。

**答** 単に学校を一つにするのではなく、それぞれの学府に合ったものを地域としっかり話し合いをし、進めていきたい。

**問** 日本共産党磐田市議団は、安倍元首相の国葬について反対の立場である。各学校での弔意強制を行わないことを求める。見解は。

**答** 内閣官房長官や文部科学大臣による地方自治体や教育委員会などに弔意表明の協力を求めない方針を受け、本市でも小中学校に対し弔意表明は求めない方針である。

**問** ゼロカーボンシティの実現



**答** 増額の考えはないが、省エネルギー対策等に有効な設備があれば、必要に応じて対象の拡大を検討していく。

**問** 津波避難タワーの防災訓練、その他の活用は。

**答** 沿岸部では津波避難タワーを活用した避難訓練を毎年実施しており、小学校の防災授業でも活用している。

**問** 福田北津波避難タワーは、他のタワーと比べて明らかに低いが、設計基準は。

**答** タワー周辺は県第4次地震被害想定に基づく津波高が、最大でも2メートル未満

**問** 市立小中学校のグラウンド開放の現状

**問** 市立小中学校における照明設備の改修整備、新規設置の方針は。

**答** 具体的な計画はないが、更新に際して省エネルギーの効果や照明設備の使用件数、類似施設の状態などを考慮して検討していきたい。

選択的夫婦別姓について／「まちの駅」構想について／火葬場構想について



問  
答

せいわ会 戸塚邦彦 議員



**問** 選択的夫婦別姓に対する市長の見解と旧姓併記の諸課題、事実婚でのパートナーシップ制度の進捗は。

**答** 選択的夫婦別姓については現在、法改正について国等で検討されており、世論調査でも導入を希望する声が高まっていることは承知している。最高裁判事内でも見解が分かれています。今後、旧姓併記は制度開始から63件の申請があるが、苦情はなく、事務手続上の大きな負担もない。パートナーシップ制度は、県と協調して進めており、県は市営住宅や市立病院についても統一的な適用を目指すとして、直接各市町の関係機関や関係部署と調整を進めており、本市も協力をしていく。

**問** 「まちの駅」は将来のまちづくりにつながり、「学びの場」になると思いますが見解は。

**答** まちの駅にぎわいにつなげる手段の一つであると認識し

**問** 磐田市聖苑の利用状況と天竜斎場閉鎖に伴う影響、火葬場の長期計画は。

**答** 3年度は、1787件の利用があり、この5年間は増加傾向にある。火葬のピークは22年約1900件を想定しているが、天竜斎場閉鎖後も、対応可能な件数であるため、耐用年数約70年の長寿命化を図りながら使用していく。建て替えや新設などは考えていない。

**問** 市民の安心安全の現状について

**問** 建設から10年以上経過している津波避難タワーの点検、メンテナンスの状況は。

**答** 毎年さび、ボルト、ライト等の安全点検を実施するとともに、不具合を早期に修繕し、健全な状態の維持を図っている。

**問** 津波避難タワーの防災訓練、その他の活用は。

**答** 沿岸部では津波避難タワーを活用した避難訓練を毎年実施しており、小学校の防災授業でも活用している。

**問** 福田北津波避難タワーは、他のタワーと比べて明らかに低いが、設計基準は。

**答** タワー周辺は県第4次地震被害想定に基づく津波高が、最大でも2メートル未満

**問** 市立小中学校のグラウンド開放の現状

**問** 市立小中学校における照明設備の改修整備、新規設置の方針は。

**答** 具体的な計画はないが、更新に際して省エネルギーの効果や照明設備の使用件数、類似施設の状態などを考慮して検討していきたい。



まちの駅シンボルマーク

市民の安心安全の現状について／市立小中学校のグラウンド開放の現状について



問  
答

新磐田 加藤文重 議員



福田北タワー

**問** 市民の安心安全の現状

とされており、安全な高さが十分確保されている。安心いただけるよう周知に努める。

**問** 防潮堤完成後の津波のシミュレーション、バーチャル映像の製作を市長がリーダーシップをとって中東地区の首長と共に県に要望する考えは。

**答** 津波シミュレーションを含め、防潮堤完成後の新たな被害想定について、市長会で県予算への要望、提言書の提出を予定している。バーチャル映像については啓発効果なども考慮して検討していく。地域の皆さんに安心いただけるよう、率先して周辺市町とともに要望をしていきたい。

**問** 市立小中学校のグラウンド開放の現状

**問** 市立小中学校における照明設備の改修整備、新規設置の方針は。

**答** 具体的な計画はないが、更新に際して省エネルギーの効果や照明設備の使用件数、類似施設の状態などを考慮して検討していきたい。

# 行政視察報告

議会運営委員会や常任委員会では、所管する事務に関する審査や調査のため、他の自治体の先進的な取り組み等について行政視察を行っています。今回は、総務委員会、民生教育委員会、建設産業委員会の行政視察（オンライン会議方式）の内容をお知らせします

**富山県南砺市**  
●地域コミュニティ  
南砺市では、平成24年にまちづくり基本条例を施行したが、課題解決型の組織に生まれ変われなかったという課題



**島根県雲南市**  
●地域コミュニティ  
雲南市は、約8割が森林に囲まれ、全域が過疎指定されている。住民主体のまちづくりに取り組んでおり、地域づくり協議会が主体となり地域活動支援を行っている。地域づくり協議会では、交流センターの運営、農家レストランや産直市場の運営、水道検針を行うっており、毎月の検針時に地域全世帯に声かけをする安心安全の見守り活動に取り組んでいる。本市の地域コミュニティにおいて、磐田らしい仕組みで小規模多機能自治の推進を地域理解のもと進める必要があると感じた。

があった。平成31年に中間支援組織「なんと未来支援センター」を設置し、小規模多機能自治の支援などを行っている。また、地域づくりを目的とした「南砺幸せ未来基金」を設立し、地域活動の財源として、様々な取組を進めている。さらに、「なんと未来創造塾」では、若手事業者が大学と連携し、地域課題解決のための研修を行っている。課題解決型地域づくりにおいて、地域住民を中心に置く解決への仕組みづくりが重要と考える。

## 総務委員会

(調査項目) 地域コミュニティ  
7月21日、7月27日

**兵庫県加西市**  
●高齢社会における介護・医療費の抑制策  
加西市は、ウエルネス（健康）をまちづくり政策の中核



**掛川市**  
●高齢社会における介護・医療費の抑制策  
掛川市は、袋井市と共同し、平成25年に中東遠総合医療センターを開設した。地域健康医療支援センター「ふくしあ」や、健康医療の中核ゾーン「希望の丘」を整備し、地域包括支援体制を推進している。地域完結型の医療体制を確立し、健康長寿社会を形成することを目指し、平成28年に、議員発議による「掛川市健康医療基本条例」を制定、施行した。条例の制定後も、市議会主催のシンポジウムを開催するなど、議会が切れ目なく市民へ取組を働きかけていることがすばらしいと感じた。

に据え、市民誰もが住めば自然と歩いてしまいうまちづくり、生活習慣病予防や寝たきり防止を可能とするまち（健康都市）づくりを目指していることを表明し、この理念を具体化するため、平成27年に「加西市歩くまちづくり条例」を施行し、行政、市民が一体となって「健康都市」の実現に向け取り組んでいる。本市においても、条例の制定をきっかけとして、まちの景色が変わるような変化を起していきたいと感じた。

## 民生教育委員会

(調査項目) 高齢社会における介護・医療費の抑制策  
6月1日、7月26日

## 磐田市幼児教育・保育推進計画の諸課題について／インボイス制度の導入と市の対応について／旧統一教会と市の関わりについて



問  
答



日本共産党磐田市議団 根津康広 議員



**幼児教育・保育推進計画**  
問 待機児童数、入園調整中児童数と保育枠確保は。  
答 4年10月1日現在の待機児童数は23人。入園調整中児童数は218人となる見込み。保育士の確保やICT化を進め、保育環境の改善を行い、受入数の増加に努めていく。

問 保育士の確保策と正規職員の比率、増員計画は。  
答 磐田北高のキャリア支援事業への協力やチラシ配布等に取り組んでいる。正規率は4年度66・9%である。増員計画を定められない状況だが、一人でも多く配置できるように保育士確保に努めていく。  
問 磐田北幼稚園と北保育園の統合、認定こども園移行、子育て支援センター設置の現状と課題は。

答 2園の建物を共に使う案で、どちらかに新たな支援センターを考えている。保育園は園庭が狭く送迎用の駐車場が少ないことが課題である。  
旧統一教会と市の関わり  
問 会費の支払い、寄附金の受取り、団体企画の後援、表敬訪問、イベントの後援、表敬訪問、イベントの後援、道路や公共施設の清掃ボランティア制度への登録があった。  
問 市消費生活センターに寄せられた霊感商法等の相談件数、内容、対応は。  
答 相談は37件で、はんこ等の購入にかかる返金に事業者が応じない等である。消費生活相談員が相談者へ助言を行うほか、弁護士による法律相談を案内している。

問 旧統一教会との関係を一切断つことを求めるがどうか。  
答 社会的に不適切な活動を行う団体等とは、関わりがないよう対応していく。

### 一般質問用語解説



- ※1 障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法(P11)  
全ての障がい者が、あらゆる分野の活動に参加するためには、情報の十分な取得利用、円滑な意思疎通が極めて重要であることから、障がい者による情報の取得利用、意思疎通に係る施策を総合的に推進し、共生社会の実現に資することを目的に制定されたものです。
- ※2 グリーンライフ・ポイント(P11)  
消費者一人一人のライフスタイルの転換を加速させる観点から、環境配慮製品やサービスの選択など、消費者の環境配慮行動に対し、企業や地域等が発行するポイントの総称です。
- ※3 磐田市dX推進計画(P11)  
全ての人が、よりよい未来を迎えることができるように、あらゆる社会の変化に対応していくための変革を、デジタル技術も活用して行っていくための計画です。本計画では、「Digital」を小文字「d」で「Transformation」を大文字「X」で表現しています。
- ※4 まちの駅(P12)  
地域住民や来訪者が求める地域情報を提供する機能を備え、人と人の出会いと交流を促進する空間施設です。また、まちづくりの拠点となり、まちとまちをつなぐ役割を持つものです。
- ※5 スカウト機能(P13)  
市の就活情報サイト「磐田de」において、利用者が自己PRなどの情報を入力することで、企業から連絡が来る仕組みのことです。

8/17 子どもたちが議場を見学に来ました

放課後等デイサービスほっぷ国府台の皆さんが議場見学に来ました。子どもたちは議席に座り、議会の仕組み、議員の仕事などについて説明を受けた後、市議会クイズに挑戦したり、登壇し、「将来の夢」を発表しました。

議会に興味を持った子どもたちからは、「どうして議員になったんですか」等の質問がありました。



9/7 オンライン委員会を開会可能に～市議会委員会条例の一部改正～

2年4月に総務省が、新型コロナウイルス感染症対策として、人が集まること、そのものを控える必要がある例外的・緊急的な場合、オンラインの方法による委員会の開会は、差し支えないという見解を示したことを受け、市議会において、協議・検討を進めてきました。

4年7月上旬から、新型コロナウイルスの感染状況が急速に悪化した状況に鑑み、そのような場合に、委員会をオンラインで開会できるようにするため、市議会委員会条例第15条の次に、委員会の開会方法の特例として、第15条の2を加えました。また、本人確認や表決方法などについては、オンラインによる委員会の実施要領を作成しました。

10/27 ～ようこそ磐田市へ～行政視察受け入れ

菊川市議会総務建設委員会の皆さんの行政視察を受け入れました。テーマは「見付美登里土地区画整理事業について」です。

視察では、事業概要や公共事業の民間主導による開発の内容について説明するとともに、現地視察も行いました。

8/22 ～ようこそ磐田市へ～行政視察受け入れ

袋井市議会議会活性化特別委員会の皆さんの行政視察を受け入れました。テーマは「議会人事の状況について」です。

視察では、議会人事について説明するとともに、質疑応答や意見交換を行いました。



10/12 閉会中の継続審査を決定～台風15号による被害を受けて～

本市において、豪雨災害による大規模な被害が発生しました。このため、9月26日に議会運営委員会を開催し、市議会業務継続計画（BCP）を適用する中で、9月定例会の日程変更を行い、予算決算委員会各分科会の審査期間、9月26日から9月30日までを、10月5日の1日間とし、4年度一般会計補正予算（第5号）ほか補正予算全6議案を審査しました。

また、3年度一般会計歳入歳出決算ほか決算議案全15議案については、閉会中の継続審査とすることを10月12日の本会議で決定しました。

それに伴い、議会運営委員会で予算決算委員会各分科会の審査期間を11月7日から11月14日までとしました。



建設産業委員会

8月25日

（調査項目）キャッシュレス社会への対応 脱炭素社会に向けての取り組み・支援

福島県磐梯町

●キャッシュレス社会への対応

磐梯町は、人口減少、集落の維持、経済の停滞など、小さな地方自治体が抱える課題に直面している。元年より、魅力あるまちづくりの手段として、デジタル変革の取組が始まった。小さな町が本気でDXに取り組んでいると、全国から注目を集めている。「外部人材と連携し、職員の意識と組織風土の変革を実現する」を目標に、スピード感を持って推進している。多くの方が参加できるように、シニア向けスマホ教室や、なんでもスマホ相談など、高齢者へのデジタル支援も参考になった。

長野県飯田市

●脱炭素社会に向けての取り組み・支援

飯田市は、リニア新幹線の開業、三遠南信自動車道の整

備など、大幅な交通基盤の改善が見込まれている。地区ごとの公民館活動などが活発で、自主・自立の文化が根づいている。平成19年に環境文化都市宣言を行い、平成21年内閣府より環境モデル都市の選定を受けた。3年に「2050いいだゼロカーボンシティ宣言」をし、脱炭素社会へ向けて積極的に取組を行っている。本市でも、自然環境と豊かな文化を活かし、市民・自治会・行政など三位一体で取り組む体制づくりが重要である。



8/10 ～ようこそ磐田市へ～行政視察受け入れ

掛川市議会文教厚生委員会の皆さんの行政視察を受け入れました。テーマは「ながふじ学府の学校再編について」です。

視察では、ながふじ学府小中一体校の校舎建設や地域開放などについて説明するとともに、施設内の視察見学も行いました。



8/16 子どもたちが議場を見学に来ました

市内の小学校4年生から6年生を対象に、「磐田の未来を語る会」が開催され、その一環として議場見学が行われました。子どもたちは議席に座り、議会や議場の説明を受けた後、市議会クイズに挑戦したり、登壇し、「将来の夢」を発表しました。

初めての議場に緊張しながらも、「とても良い経験ができた」と目を輝かせていました。



# 映像配信による 令和4年度議会報告会を開催します

例年、市議会では市民に開かれた議会を目指し、議会報告会を開催しています。  
4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市議会ホームページ上で映像配信により議会報告を行います。  
ぜひご覧いただき、皆さんの声をお寄せください。



**1 平常時の備え②/2**

■**磐田市議会業務継続計画(議会BCP)**

○災害等の発生時においても議会の機能を維持していくため、必要な組織体制や議会・議員の役割を定めている

【主な内容】

- 議会、議員、議会事務局における、
  - ✓災害発生時の活動基準
  - ✓初動期、中期、後期の行動基準
    - ※初動期 → 発災から概ね24時間
    - ※中期 → 発災から概ね2日目～7日目
    - ※後期 → 発災から概ね8日目以降
- 災害等発生時の議会運営の流れ



動画のイメージ(3年度議会報告会)

報告資料のイメージ(3年度議会報告会)

磐田市議会報告会

## 日程

令和4年 **12月12日(月)** 配信開始

## 内容

○各委員会からの報告  
総務委員会、民生教育委員会、建設産業委員会、  
磐田市公共施設等マネジメント検討特別委員会

## 視聴方法

磐田市議会ホームページの、「議会報告会」のページからリンクをクリック

報告資料は、議会事務局、各支所、各交流センターでも閲覧することができます

## 皆様のご意見等をお寄せください

※ご意見等への個別の回答はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

報告内容へのご質問やご意見を、以下の方法によりお寄せください。

### ■磐田市議会ホームページから送信する

磐田市議会ホームページの投稿フォームに入力いただき、送信してください。

### ■回収箱に投函する

受付期間中、議会事務局、各支所、各交流センターに用意しますアンケート用紙に記入いただき、回収箱に投函してください。

受付期間：令和4年12月12日(月)から令和4年12月26日(月)まで

## 問い合わせ

議会事務局

電話

0538-37-4822

FAX

0538-37-4845

E-mail

gikai@city.iwata.lg.jp

## Information

### 市議会の傍聴について

本会議や委員会は、感染症の拡大等に問題がない限り傍聴することができます。傍聴を希望される方は、会議当日磐田市役所本庁舎5階の議会事務局へお越しください。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、以下の事項を必ずお守りください。

1. マスクを必ず着用してください。
2. 6階フロアにアルコール消毒液を設置していますので、入室前に必ず手指を消毒してください。
3. 入室前に体温測定をしますのでご協力ください。
4. 次の方は傍聴できません。
  - ・発熱等風邪の症状のある方
  - ・体調のすぐれない方
  - ・入室前の体温測定で発熱を確認した方
  - ・マスクの着用に協力していただけない方
  - ・体温測定に協力していただけない方
5. 換気を図るため、会場は基本的に窓等を開けて開催しますので、聞き取りにくいことも考えられます。また、必要な場合の寒さ対策は各自でお願いします。



※感染対策のため、座席数を制限しており、傍聴をお断りすることがあります。

### スマートフォン等からも議会を傍聴できます

パソコンのほか、スマートフォンやタブレット端末からも、本会議、予算決算委員会の模様を視聴することができます。生中継・録画中継を配信しておりますのでぜひご覧ください。



磐田市議会 インターネット中継

クリック

検索

### 政治家の年賀状は禁止されています

公職選挙法により、議員は選挙区内の人に対して、年賀状などのあいさつ状(答礼として自筆のものを除く)を出すことが禁じられています。

市民の皆様のご理解をお願いいたします。



# 審議結果

## ■全会一致により可決・同意された議案

- (1) 市議会委員会条例の一部改正
- (2) 4年度一般会計補正予算（第4号）
- (3) // 介護保険事業特別会計補正予算（第1号）
- (4) 職員の育児休業等に関する条例の一部改正
- (5) 4年度一般会計補正予算（第5号）
- (6) // 国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）
- (7) // 介護保険事業特別会計補正予算（第2号）
- (8) // 水道事業会計補正予算（第1号）
- (9) // 下水道事業会計補正予算（第1号）
- (10) // 病院事業会計補正予算（第2号）
- (11) 市議会議員及び市長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部改正

- (12) 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
- (13)(14) 財産の譲渡
- (15) 市道の路線認定
- (16) 三ヶ野新貝こ線橋撤去工事委託に関する協定の締結
- (17) 4年度一般会計補正予算（第6号）
- (18) 監査委員選任の同意
- (19) 人権擁護委員の候補者推薦
- (20) G I G Aスクール構想の推進及び持続可能な中学校部活動に関する意見書

## ■その他本会議で議題となった案件

- (1) 閉会中の継続審査
- (2) 市議会議員の派遣

## 11月定例会の予定

（11月25日～12月23日）

日	月	火	水	木	金	土
11/20	21	22	23	24	25	26
					本会議 (議案上程ほか) 予算決算委員会	
27	28	29	30	12/1	2	3
					本会議 (先議採決・代表質問)	
4	5	6	7	8	9	10
	本会議 (代表質問)	本会議 (一般質問)	本会議 (議案質疑)	予算決算委員会分科会 (審査)	常任委員会 (審査)	
11	12	13	14	15	16	17
	予算決算委員会分科会 (審査)	常任委員会 (審査)				
18	19	20	21	22	23	24
	予算決算委員会 (採決)				本会議 (採決)	

### ※いずれも午前10時から

日程は変更する場合があります。代表質問・一般質問を行う会派・議員の順番や内容につきまして12月1日（木）にホームページ上で公開を予定しております。また、聴覚障がい者の皆さまの議会傍聴のため、手話通訳者や要約筆記者の手配等を行っています。ご希望の方は、事前に議会事務局（電話 0538-37-4822、ファックス 0538-37-4845）までお問い合わせください。

## 表紙の写真

静岡県立磐田南高等学校 2年生  
ビジュアル部 <sup>ますだ</sup> <sup>ことみ</sup>  
増田 琴心 さん

近年のコロナウイルスの流行だけでなく、今年あった大規模な洪水で大変な思いをしている人がたくさんいると思います。

この写真にある紙飛行機が私たちならば、今は向かい風の中を飛んでいる最中に感じるかもしれませんが、いつか素晴らしい景色が見られるはずです。そのような思いも含めて、磐田を明るく照らしてくれるような写真だと思い、この写真を選びました。



早いもので令和4年も残すところ1か月となり、一年を振り返る季節となりました。今年は台風15号が日本を襲い、市内各地に爪痕を残すことになってしまいました。被災された皆様には心よりお見舞いを申し上げます。市議会としても被災者支援を含めた防災対策の在り方について引き続き取り組んでいきたいと思っております。  
(本間昭男)

### 【広報広聴委員会】

- 委員長：小柳貴臣
- 副委員長：江塚 学
- 委員：本間昭男、八木義弘、芥川栄人、虫生時彦、根津康広

次回は2月1日発行予定です。